

一般質問

習志野政心会

市民の声を議会に反映させる最大会派

Q 事務事業の見直しについて
 A 更なる事務事業の見直しを進めるには、民間活力の導入など踏込んだ見直しが必要。
Q 事業仕分けの実施について
 A 事業見直しに有効と考えるので、前向きに検討していく。
Q 新しい公共空間について
 A 公共を行政のみで担うという考えから脱却し、様々な主体が行政と協働して公共を担うという考え。時代の変化に対応した新しい行政運営に転換していくこと。
Q 三位一体改革について
 A 4兆円の国庫補助負担金改革と3兆円の税源移譲を行うという改革が一応決着した。本市の影響は今後の地方財政対策等の動向を見極めていく。
Q 昭和56年以前の木造住宅の耐震診断について
 A 18年度から診断希望者に無料の耐震診断会を開催し年間約130棟の耐震診断を実施する。
Q 市営住宅の老朽化診断の結果について
 A 東習志野1号棟は耐震診断基準を十分に上回っており、今後入居者の意向を調査し浴室設置を含めた大規模改修を検討する。
Q 産業振興基本条例施行後の振興施策について
 A 協働事業が順調に推進中。
Q 指定管理者の指定について
 A ゆうゆう館とコミュニティセンターの管理者を非公募で法人ではない団体を指定する。これは従前から行政側から委

真政会

バランスの取れた

Q 危険防止や美観上から再度撤去を強く求め指導する。
 A 危険防止や美観上から再度撤去を強く求め指導する。
Q 地籍調査の促進を強く求める。大地震災害等により地形が激しく変化してしまつた時などのために地籍調査が必要。個人の土地が災害により、境界が不明になった場合でも、地籍調査済みであれば簡単に基準点から測量し個人の土地は守られる。我が市の早急な地籍調査の促進を求める。
 A 現在は測量基準点を設置する作業を進めており、19年度から取り組みに向け進めていきたいと考えている。
Q 実商店街の空き地(市有地)利用について
 A 市内のホテル閉鎖等により市民団体の交流の場も失つた。実商店街から2分のこの土地に習志野の核となるような施設を早急に実現して頂きたい。
Q 高瀬処理区の公共下水道整備について
 A 国道14号線以北の谷津5・6丁目を中心とした合流区域においては、谷津汐見台町会を中心とした地域の下水を排除するための主要な下水道施設の整備を今年度中に終える予定。今後は、面整備事業に取り組み、公共下水道整備区域の拡大に努めていく。
Q パリアフリー化について
 A ①京成津田沼駅 ②京成線下りホームと駅北口階段にエレベーター設置 ③JR津田沼

公明党

生活者の視点に立ち行動する公明党



第32回七草マラソン大会(1月8日)

Q 自動対外式除細動器(AED)の早期普及について
 A スポーツ施設等へ平成18年度早期に設置を予定。鉄道の駅、大型店舗等の民間施設については、消防本部職員が訪
Q 市民の方に分かりやすいごみ収集を行うため、来年度から改善を図るべく検討している。
 A 市内の方に分かりやすいごみ収集を行うため、来年度から改善を図るべく検討している。
Q アスベスト調査の中間報告がまとまったが、今後の方針について
 A 年内に最終報告が出るが、今のところアスベストが検出された施設においても飛散の心配はないが、成分調査の最終結果を受けて除去等の作業の優先順位を決め、順次作業を実施したい。
Q 子育て支援が強化される中、市民サービスの維持を確保する上で母子保健の体制はどのように検討しているのか
 A 母子保健の企画立案部門を一本化し子育て家庭への関わりに専念できる体制を整える。
Q 国保料のコンビニ納付を検討中だが進捗状況を伺う。
 A 平成19年度よりコンビニ収納を導入して頂く。
Q 子育て支援が強化される中、市民サービスの維持を確保する上で母子保健の体制はどのように検討しているのか
 A 母子保健の企画立案部門を一本化し子育て家庭への関わりに専念できる体制を整える。
Q 国保料のコンビニ納付を検討中だが進捗状況を伺う。
 A 平成19年度よりコンビニ収納を導入して頂く。
Q 子育て支援が強化される中、市民サービスの維持を確保する上で母子保健の体制はどのように検討しているのか
 A 母子保健の企画立案部門を一本化し子育て家庭への関わりに専念できる体制を整える。
Q 国保料のコンビニ納付を検討中だが進捗状況を伺う。
 A 平成19年度よりコンビニ収納を導入して頂く。

新社会党

実効の高層マンションの階数を下げる行政指導を

Q 実効5丁目東京スター銀行跡地へのマンション建設は、高さ40メートル12階建てと日照やビル風などの不安から階数を減らしてとの住民要望がある。行政指導をしてほしい。
 A 事業者が「時期が来れば着工させてもらう」と強行着工を匂わせている。指導強化をお願いしたい。地区の事情を勘案し指導して頂きたい。
Q 東習志野2丁目旧川鉄建材跡地へのショッピングセンター計画は、交通問題など問題が多いので中止してほしい。
 A 同地区は都市基盤整備がぜい弱で商業系一括利用は問題が多いとJFE建材(株)に申し入れた。再考してもらえると
Q 介護保険法改正に伴う本市の介護保険料の見直し額と所得段階の設定について
 A 来年度からの第一号被保険者の保険料の基準月額額は3千800円になる見込み。また各所得段階の設定は低所得者の負担を軽減し、負担能力のある方には相応の負担をしていただくため所得額70万円以上を限度とする7段階(現在6段階)の設定を考えている。
Q 公民館有料化による今年度7館合わせての使用料はいくらになるのか
 A 7月からの使用料で約6百35万円を見込んでいる。それらの利用者への還元策として教材用の備品の購入を考えている。
Q 大又夫が? 歯偽造問題 小児救急体制の整備を!
 A マンション構造計算書が偽造され、社会問題となつているが、習志野市では起る可能性があるか。対応はどうするのか。
Q 姉歯建築設計事務所のかかわつた建築物の申請はなかったが、県扱いの擁壁4.5メートルの物件が市内に一件あり、県とともに現地を確認し調査結果について県から市に報告頂ける。
Q 市の公共建築物は大丈夫か
 A 市の建築物は防災拠点として位置づけられており、建築の際には十分な協議と現場に立会い、

平成16年度決算審査の状況

平成16年度の各会計決算は、9月の第3回定例会に提案され、決算特別委員会に付託された後、閉会中の10月11日から14日まで審査されました。決算特別委員会での主な質疑及び要請は次のとおりです。
◎ 一般会計
 歳入決算額 487億891万8000円
 歳出決算額 470億778万8000円
 歳入歳出差引額 17億113万円
主な質疑事項
 一、本市は平成9年度から財政非常事態宣言をし、自主自立したまちづくりを推進するため財政健全化に向けた取り組みや行政改革を行つてきたが、16年度はどのような取り組みをしたのか。
 一、財源対策債や減税対策債は、発行許可額があると思うが、16年度はどのくらい発行したのか。
 一、男女共同参画推進事業について、後期行動計画の初年度となる16年度の取り組み状況はどのようになっているか。
 一、行政評価システム事業について、各部における予算編成や定員管理に活用するため、16年度はどのような体制を構築したか。
 一、千葉県済生会習志野病院について、女性専用外来の医師の確保状況はどうか。
 一、JR津田沼駅南口の土地区画整理事業の基本構想を策定したが、地権者や周辺住民への周知はしたのか。
主な要請事項
 一、地方六団体においてもしつかりした税源移譲が行われるよう要望しており、本市としても何らかの方法で同様の要望をしていただきたい。
 一、市制50周年ということもあって、基金を取り崩して花火大会を行い、今後は手づくりの祭りになると思うので、その体制づくりについて、
 一、下水道使用料を値上げしたことによる増収は、津田沼浄化センターの改築更新の診断結果についてどう判断をしたか。
 一、下水道会計の企業会計化は考えられないか。
 一、老人保健特別会計の推移と1人当たりの費用、医療費の抑制について、本市としての対策は、
 一、高齢者が健康を守る上でどういった課題を抱えているのか分析の必要があるのではないかと。
◎ 介護保険特別会計
 一、保険料の6段階制が創設され、2年目になるが、5段階制と比べ徴収状況はどうか。
 一、特別養護老人ホーム待機者の推移はどうか。
 一、ショートステイとデイサービスの利用状況はどうか。
◎ ガス事業会計
 一、ガスの原料構成は、熱量変更に伴い何か特徴的な変化はあるのか。
 一、県内産ガスと外国産ガスの購入量、購入比率等について。
◎ 水道事業会計
 一、本市の水は安くて良質であり、これを拡大する施策は何かあるのか。
 一、埋設された石綿管はどのくらい残っているのか。
 一、水道供給事業だけでなくペットボトル等で飲料水用として販売する計画はないのか。

特別会計

◎ 国民健康保険特別会計
 一、低下傾向にある保険料収納率の原因と今後の取組み方針、収納体制について。
 一、保険料の賦課徴収制度をただし書き方式に改正したことにより一人当たりどの程度値上げされたのか。
◎ 公共下水道事業特別会計
 一、未水洗化の世帯に対してどのような指導をしているのか。